

飛躍目覺しき輸出貿易

本年度二百三十万コント突破か

日本の輸入順位、三位へ

ロウパンサ貿易

来るべき聖州の對外貿易の動向を調査するため過去の聖州經濟状態特に聖州の貿易統計を検討するに、一九三三年を以て先づ聖州貿易は從來の沈滞を破つて進歩的復興し躍進がある、換算すれば、一九三三年度を以て過去の經濟的不況を大体突破克服して、以來逐年對外輸出は量的にも額的にも著しい増加を示す。

一九三四年、一、五六、六七、八六五
一九三五年、二、〇七、二三四
（単位：コント）

さ云ふ動向を示してゐる、而かもうと對外輸出は僅に二百萬コントを凌駕し完全に聖州過去の高記録に到達してゐる聖州の過去の對外貿易額に於て二百萬コントを超過したのは僅かに一九三四年、一九二八年、二九年であった。

昨年度の對外輸出は僅に二百萬コントを凌駕してゐる聖州過去の高記録に於て二百萬コントを超過したのは僅かに一九三四年、一、〇一、九七一

一九三五年、一、一〇四、七〇四

（単位：コント）

さ云ふ數字を示してゐる

昨年度輸出額は必ずしも從来の

高記録に達したことは云ひ得ない迄

も更に本年、三六年度は前年以上の

輸出情況を呈し、最近の報道に依

れば、本年一月以降七月迄の七ヶ

月の對外輸出は數量に於て七三二

、三六一、五三六キロ、價額に於

て一、三六三、六四三コントを表

示してゐるが、本年上七ヶ月の輸出

額であるが、本年後五ヶ月を餘す

間で推移するものとすれば、本年

未には總輸出額二百三十萬コント

を突破し輸出量は僅に一百二十萬

キロであるが、本年後五ヶ月を餘す

間で推移するものとすれば、本年

未には總輸出額二百三十萬コント

を突破し輸出量は僅に一百二十萬

キロであるが、本年



新装成つた移民收容所。州知事を迎へ落成式舉行
興味あるソ珈琲院長の演説

易である農作地は擴大し生産

余年洗ひて最も親しみ

印象深い聖市移民收容所は建築以

來すでに四十余年を経て古びて來

たので、久しい以前から内が共に

大改革の工事が行なはれつゝあつ

たが此の程全部工事を終り、去る

八日、日曜の午後四時半からサ

レ州知事、ソブリンニヨ珈琲院

長始め保長官、聖市長、土

地移植民局長、農務局長其他多數

知名士參集し落成式を舉行したが

閉會を宣するに先立ちソブリンニ

ヨ前州農務長官は一場の演説を試

み政府の移民政策を述べ移民史

に言及し

聖州の移民明瞭に三つの時

期に分けられ、その一

つは奴隸解放時代で我々は急激

に分かれ事が出来、その二

つは移民の不足の前に農場を開拓

を云々する暇も無くなつぶつ

と云ふ事を知りたい、移民史

は逐日倍化していく人が来ても

好事は出来ない、精進が必要だ

余は今伯國は萬にその人の資金

を増加してか、又は單に人の數



（株式会社）
北富三郎書
（147）

左「ハテ何れへ参らうも宜いで
ないが、先に立つは寺澤左源太。
宇佐美主税よつての谷の合戦
で申さうなら、平山熊谷といふ所
ぢやて、宣し鬼神の様家へ參らう
と恐れる様者ではない。まづ
「さう云へばそんものである
然し如何に平山であらうが熊谷で
あらうがあてもなき戦ひには行
まい、またその行先を申され
それに依つて同道致すから」

主税は修驗者の許へ行くと左源

太に云はて、「噂には占ひが不思議に當る
か、然し貴公は何んのためにその

やうな所へ行かれるか」

「されば、是より參つて果して彼

の占ひが當るかどうか見届けて

參る。若し彼が愚言を用ひて他人

を欺くやうであつたなら懲るに意

見な加へてやる所存ぢや」

「これは無念な事、奇妙と申す
者がどのやうな事、いたさう

貴公には差支へなきこではない

もござらぬ。御同行なさい」

「イヤ拙者はそのやうな所へ参る
には断り申す」

「ウーム左様か、然らば此の上は

無理に同道されさせ申され。貴

公はお歸りなさるが宜い、拙者は

兎も角も彼の宅に參つて見届けて

參る」

「では致し方がない。お別れ申す

お氣を付けて行かれるやう」

捨て置けぬ」

「まばら又近日にね目にかかる
止せば宜いのに左源太は主税の

隠居する後姿を見て、あはは……

ふ娘を召捕すべく役人を駆けつける。
役人がある以上、貴公が見や

かうなされるには及ばぬ、まづま

づそのやうな愚かな事を申さず

存する。申されぬ上にはまうい

ふ娘を召捕すべく役人を駆けつける。

主税は急に

寝室なされたが宜しからう

と主税はなだめる。所が左源太

は承知しない。

「申されぬ、それはに上には役

人がある。なれどその役人共の眼

に附がざる時は四民の上に立つ我

が成敗いたした所で何んの障

に戻る。左源太は根津櫻院近くに

故斯様な所へ参る心に相成つたか

、子供ではあるまでも馬鹿々々

い事だ」

是又吟詠するやうな顔で本郷の邸

に戻る。左源太は根津櫻院近くにて何

が成敗いたした所で何んの障

に戻る。左源太は根津櫻院近くにて何

が成